

平成30年度 第2回海老名市国民健康保険運営協議会 会議結果報告書

- 日 時 : 平成31年2月20日(水) 午後2時から3時
- 会 場 : 海老名市役所 3階 政策審議室
- 出席者 : 委 員 8名〔高橋委員、山川委員、小林委員、田口委員、
河野委員、桐生委員、森島委員、前田委員〕
事務局 5名〔橋本部長(途中退席)、木村次長、澤田参事、
林課長補佐、藤本〕

【概 要】

1 開 会

2 あいさつ

【部長あいさつ】

- 国保運営ご協力に対するお礼。
- 4月からの国保の都道府県化等の制度改革が始まり、間もなく1年が経過しようとしている。市においても、制度改革への円滑な対応に努めているところである。
- 本日は、平成31年度の国保の予算案や標準保険税率に関すること、また、被保険者証と高齢受給者証の一体化についての報告などをさせていただきたいと考えている。
- 海老名市として、県等の協議会を通じて情報交換を行い、引き続き国保事業の適正かつ円滑な運営に向けて努力していく。
- 委員の皆様におかれましても、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

【会長あいさつ】

- 今年度2回目の会議となるが、年度の最後の会議で、また、2年間の任期の最後の会議となる。
- まずは、この2年間、皆様におかれましては、委員として海老名市の国保運営にご尽力いただき感謝する。

- 本日の議題は、平成31年度国保特別会計予算案や県から通知された標準保険税率及び納付金などの報告が予定されている。
- 4月から国保運営の都道府県化をはじめとする医療保険制度改革が本格的に動き出しているが、今後もこの協議会は、海老名市の適正な国保運営の一翼を担う組織として、大切な役割を担うものとして認識している。
- 本日も、皆様の意見を伺い、会議が有意義かつ円滑に進むようにご協力をお願い申し上げて、挨拶とする。

3 議題

(1) 平成31年度の国保特別会計予算（案）について

⇒【議題1 資料1・資料2】に基づき、事務局より説明。

【質疑等】なし

(2) 平成31年度の標準保険税（料）率及び納付金について

⇒【議題2 資料1】に基づき、事務局より説明。

【質疑等】なし

(3) 被保険者証と高齢受給者証の一体化について

⇒【議題3 資料1・資料2】に基づき、事務局より説明。

【質疑等】なし

(4) 旧被扶養者に係る応益割の減免期間の見直しについて

⇒【議題4 資料1・資料2】に基づき、事務局より説明。

【質疑等】なし

(5) その他

※ 平成31年度の委員更新について（口頭説明）⇒事務局より説明。

・次期より任期3年となる。

※ オーラルフレイルについて

- ・ 8月から12月実施した。
- ・ 虚弱から介護認定レベルになる前を抽出する為の調査。
- ・ 国保データベース（KDB）を使って継続して調査できるようになった。
- ・ データベースが増えれば、より効果が出る。

4 閉 会

【副会長あいさつ】

- 委員の皆様、お疲れ様でした。
- 本日の会議も皆様のご協力により滞りなく進めることができました。
- 今年度末で、委員としての任期は満了となりますが、国民健康保険は国民皆保険の基盤として重要なものとなるものと思う。
- 今後とも、国等の動向を注視し、良好な国保運営をされることを期待する。